



剣山



令和8年2月17日 No.9

～教育目標～

みんなで学び
かたをくみあう
けんきな子

春待つ季節に、それぞれの成長を

校長 佐藤 貴光

白雪が陽に映え、厳しい寒さの中にも春の気配がかすかに混じる季節となりました。

現在、イタリアで開催されているミラノ・コルティナ 2026 冬季オリンピックでは、連日アスリートたちが限界に挑む姿が報じられ、私たちに大きな感動を与えています。

氷上や雪上で躍動する選手たちの姿は、幾多の挫折を乗り越え、一朝一夕には成し得ない「努力の結晶」です。しかし、そんな彼らがインタビューで口々に語るのは、自分自身の苦労や努力以上に、「これまで支えてくれた方々への感謝」の言葉です。

最高のパフォーマンスの陰には、技術を磨くコーチ、体調を管理するスタッフ、そしてどんな時も信じて待ってくれる家族や地域の応援があります。選手たちは、自分の背中に多くの人の想いが託されていることを知っているからこそ、自分を信じて一歩を踏み出し、力を発揮できるのではないのでしょうか。

これは、本校で学ぶ子どもたちにも通じる教えであると感じています。自分の努力という「縦糸」に、周囲の支えという「横糸」が織り込まれて、その子らしい「成長」という生地が仕上がっていきます。

進級や進学という節目を前に、私たちはつい「目に見える結果」を求めがちです。しかし、子どもたちの歩みの速さは一人一人異なります。どんな状況にあっても、「今、自分なりに精一杯過ごしている」というその事実こそが、尊い努力に他なりません。誰一人として一人で歩んでいるわけではありません。たとえ今は立ち止まっているように見えても、周囲の温かな支えがあることで、心の中にエネルギーが蓄えられていきます。

2月も後半に入りました。6年生は卒業まであと1ヶ月あまり、在校生も今の学年で過ごす日は残りわずかです。学年の締めくくりとなるこの時期、子どもたちがそれぞれのペースで、自分自身の歩みを肯定できるよう、温かく伴走してまいります。

2月の行事予定

- 17日(火) 参観日(1～3年) 外国語活動日・ALT
- 18日(水) 参観日(4～6年) 外国語活動日・ALT
- 19日(木) しみず読書の日
- 21日(金) 外国語活動日・ALT 指導専門員来校
十勝清水学「命の授業」(5・6年)
- 23日(月) 天皇誕生日
- 24日(火) 外国語活動日・ALT
職員会議(年度末) 13:20～
- 25日(水) 職員会議(年度末) 14:40～
- 26日(木) 職員会議(年度末) 14:40～
十勝清水学「ウィンタースポーツ体験教室」(6年)
- 27日(金) 外国語活動日・ALT 定時退勤日
月末統計



3月の行事予定

- 3日(火) 外国語活動日・ALT 職員会議
- 4日(水)～6日(金) 評価業務(5時間授業)
- 5日(木) 移動図書(回収) 6年生を送る会
- 6日(金) 外国語活動日・ALT
- 9日(月) 御影小読書週間
- 10日(火) 外国語活動日・ALT
十勝清水学「十勝若牛調理試食体験学習」(6年)
- 13日(金) 外国語活動日・ALT 定時退勤日
- 16日(月) 御影小読書週間
- 17日(火) 外国語活動日・ALT
- 19日(木) しみず読書の日
- 20日(金) 春分の日
- 23日(月) 後期あゆみ配布 離任式
- 24日(火) 卒業式・修了式 月末統計 安全点検
- 25日(水) 年度末休業(～3/31)
6学年PTAレク

1月27日(火) 平和のバトンをつなぐ ～戦争体験を聞く会(6年生)～

6年生を対象に「平和について考える学習」を行いました。講師として、清水町遺族会の桜井美紀子さんと、図書ボランティアの渋谷久美子さんをお招きしました。まずは渋谷さんによる実話に基づいた紙芝居の読み聞かせです。社会科で学んだ「空襲」や「赤紙」といった言葉が物語の中で語られ、子どもたちは真剣なまなざしで聞き入っていました。続いて、お父様を戦死で亡くされている桜井さんから、当時の清水の様子や平和への願いを直接伺いました。体験者の言葉には、教科書だけでは計り知れない重みがあります。「平和な世の中を持続させていくことの大切さ」。自分たちが受け取った平和のバトンの尊さを再確認する、貴重な機会となりました。桜井さん、渋谷さん、ありがとうございました。



2月3日(火) ようこそ新1年生～新1年生一日入学～

4月に本校へ入学する小さなお友達を迎え、温かな笑顔があふれる「新1年生一日入学」を行いました。この日のために1年生は準備を重ねてきました。心を込めた挨拶、教室を彩る黒板の飾り付けや掲示物など。新1年生を喜ばせたいという心で取り組む姿に、もうすぐ2年生になる頼もしさを感じました。交流会では、手作りおもちゃ「ことことのぼり」を一緒に作りました。手伝いすぎて新1年生の楽しみを奪うことなく、かといって放っておくこともない。「多すぎず足りなすぎず」という塩梅で寄り添おうとする1年生の姿が伝わってきました。



新1年生の皆さん、4月、元気に登校してくる姿を楽しみにしていますね！

2月3日(火) スケート授業終了

ここ数年、降雪不足や気温上昇の影響でリンク造成に苦慮する日々が続いておりましたが、今年度はここ数年で「ベスト」と言えるほど、美しく輝く最高のリンクで授業を行うことができました。

この素晴らしい環境は、厳しい寒さの中、夜遅くまでリンク造成や日々の維持管理に奔走してくださった造成協力員の皆様、そしてPTA会員の皆様の献身的なご協力があってこそのものであります。心より感謝申し上げます。

2月2日(月)には低学年、3日(火)には高学年が、それぞれシーズンの締めくくりとなるスケートまとめの授業を行い、これまでの練習の成果を発揮しました。限られた期間ではありましたが、十勝の冬ならではのスポーツに親しみ、心身ともにたくましく成長した子どもたちの姿を嬉しく思います。

皆様に支えられ、今シーズンのスケート授業を無事に終えられましたことに、重ねてお礼申し上げます。



上記をはじめ、学校での出来事などをホームページ内の「School Diary」で紹介しています。右のQRコードから見ることもできますので、是非ご覧下さい。

御影小学校ホームページ



【文集「石の子」の発行終了について】

日頃より本校の教育活動への温かいご理解とご協力をいただき、深く感謝申し上げます。

さて、これまで本校で発行してまいりました文集「石の子」ですが、今年度より冊子としての発行を終了し、新たな形での表現・交流活動へと移行することといたしました。

「石の子」はこれまで、年度末に一人一点の作品を掲載してまいりました。しかし、年度末の発行では作品が「過去の記録」になりがちであることや掲載数が限られるといった課題もございました。

今後は、すでに各学級で取り組んでいる学級通信等での作品紹介をさらに充実させるとともに、校内掲示の工夫などを通じ、子どもたちの頑張りや成長の跡をよりタイムリーに共有し、互いに高め合える場を創出していく考えです。

また、この度の見直しは、教職員が子どもたちと向き合う時間を十分に確保し、日々の教育活動をより一層充実させるための判断でもあります。長きにわたり歴史を積み上げてきた「石の子」の精神は、形を変え、日々の生き生きとした表現活動の中に引き継いでいく所存です。

なお、卒業記念文集につきましては、これまで通り継続してまいります。

歴史ある文集の役割を、次なる形へと発展させる方針につきまして、皆様のご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

(ご不明な点やご質問等がありましたら学校(63-2560)までご連絡をお願いいたします。)